



医療法人 厚生堂

長崎病院

広報誌

2024.1

vol.

132

むつみ

当院の理念

私たちは良質で安心な医療の提供により、患者様や家族の皆様との信頼を築き、常に「思いやりの医療」を念頭に、地域社会に貢献します。

目次

がん検診の利益と不利益を知って検診を受けましょう…1
コロナ抗原キットの使い方について……………2

いきいき百歳体操で延ばそう健康寿命!……………3
お知らせ……………4



新年あけましておめでとうございます。

昨年後半はまるでコロナ禍が終息したように、人流がコロナ前の状況以上に戻っております。With コロナの環境なかで長崎病院は皆様の健康にお役にたてるよう努力してまいります。



理事長 長崎 孝太郎

がん検診の利益と不利益を知って検診を受けましょう

長崎病院ヘルスケアセンター 医師 松本 康子

わが国のがんによる死亡者数は年間38万人を超え、死亡原因の第1位です。長崎病院ヘルスケアセンターでもさまざまながん検診を行なっています。

がん検診の目的は、一定の集団を対象として、がん罹患している疑いのある人や、がん罹患している人を早めに発見し、必要かつ適切な診療につなげることに、がんの死亡者の減少を目指すことです。

がん検診は、症状のない健常者で、有病率の高い年齢層を対象とします。結果が異常の場合、精密検査が必要です。

がん検診の効果は、いかにたくさんのがんを見つけたかではなく、科学的な方法でがん死亡の減少が認められたかどうかで判断されます。

がん検診の基本条件を以下に示します。

- 1、対象のがんになる人が多く、また死亡の重大な原因であること
- 2、がん検診を行うことで、そのがんによる死亡が確実に減少すること
- 3、がん検診を行う検査方法があること
- 4、検査が安全であること
- 5、検査の精度がある程度高いこと
- 6、発見されたがんについて治療法があること
- 7、総合的にみて、検診を受ける利益が不利益を上回ること

がん検診の利益は、もちろん、早期発見早期治療による死亡率減少です。また、がん検診で「異常なし」と判定された場合、安心を得られることもあげられます。

では、**がん検診の不利益**とはなんのでしょうか。

- 1、がん検診でがんが100%見つかるわけではないこと(偽陰性)。残念ながら、毎年検診を受けていても、がんが進行するまで見つからないこともあります。
- 2、結果的に不必要な治療や検査を招く可能性があること(偽陽性)。

がん検診で異常が見つかれば精密検査が必要ですが、がんではないと診断が確定するまでに、CT検査などによる放射線被曝や細胞を採取するための手術などの負担がかかる場合があります。

3、放置しても命に関わらないがんが見つかる可能性があること(過剰診断)。

進行がゆっくりで、死亡原因にはならないがんを見つけてしまうと、過剰な治療を施すことにつながります。

4、**検査に伴う偶発症**が起こりうること。

採血時の神経損傷、胃X線検査後のバリウムによる腸閉塞、胃内視鏡検査による出血や穿孔などで、場合によっては、命を危険にさらすこともあるかもしれません。

現在、利益が不利益を上回るとして国が推奨するがん検診は、次の5種類です。

- 1、**胃がん検診**として、胃部X線検査、または、胃内視鏡検査を50歳以上で2年に一回
当面の間は胃部X線検査は40歳代も実施可、胃部X線検査は年に一回の実施可
- 2、**子宮頸がん検診**として、子宮頸部細胞診を、20歳以上の女性で2年に一回
- 3、**肺がん検診**として、胸部X線検査を、40歳以上で年に一回
50歳以上で喫煙指数(1日の喫煙本数×喫煙年数)が600以上の人には、喀痰細胞診を併用
- 4、**乳がん検診**として、マンモグラフィ検査を、40歳以上の症状のない女性に2年に一回
- 5、**大腸がん検診**として、2日分の便潜血検査を、40歳以上で年に一回

以上のがん検診は、**対策型検診**といわれ、広島市などの自治体が、広く住民に受診を呼びかけています。

一方、人間ドックなど**任意型検診**といわれる、本人の希望によって受けられるがん検診の中には、検診の効果として死亡率が減少したかどうか確かめられていないものも沢山あります。どんな検査も、100%わかるものは無いこと、検査によって不利益が生じる可能性があることを理解していただき、わからない事は医師と相談して、検診を受けていただきたいと思ひます。そして、がん検診は、症状のない人が受けることが大前提です。気になる症状のある方は、必ず受診して、必要な検査を受けてください。